

「サービス管理責任者等実践研修」標準カリキュラム

科 目	内 容	時間数
1 障害福祉の動向に関する講義（1時間）		
障害者福祉施策の最新の動向 （講義）	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉施策の最新の動向について理解することにより、利用者の置かれている制度的環境の変化を認識する。 	60分
2 サービス提供に関する講義及び演習（6.5時間）		
モニタリングの方法 （講義・演習）	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のモニタリングについて、サービス等利用計画との連動性を念頭に置きながら、モニタリングの視点・目的・手法等について講義により理解する。事例を通じて、モニタリングの演習を行い、その手法を獲得する。 	120分
個別支援会議の運営方法 （講義・演習）	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議の意義、進行方法、会議において行うべき事項（個別支援計画作成時、モニタリング時）等について講義により理解する。 ・個別支援会議における合意形成過程について、模擬個別支援会議の実施体験演習を通じて、サービス管理責任者としての説明能力を獲得する。 ・模擬個別支援会議の体験をもとに、個別支援会議におけるサービス管理責任者の役割についてグループワーク等により討議し、まとめる。 	270分
3 人材育成の手法に関する講義及び演習（3.5時間）		
サービス提供職員への助言・指導について （講義・演習）	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供職員への支援内容、権利擁護・法令遵守等に関する確認や助言・指導を適切に実施するための方法等について講義により理解する。 ・講義を踏まえて、受講者が事業所において実施している助言・指導業務について、グループワーク等により振り返るとともに、今後の取り組み方について討議する。 	90分
実地教育としての事例検討会の進め方（講義・演習）	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討会の目的、方法、効果等について講義により理解する。また、事例検討会の実施がチームアプローチの強化や人材育成にも効果を有することを理解する。 ・受講者が持ち寄った実践事例をもとに、事例検討会を行うことで、事例検討会の進め方を習得する。 	120分